

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社博展

コード番号 2173 URL <http://www.hakuten.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田口 徳久

問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 玉井 昭

TEL 03-6278-0010

四半期報告書提出予定日 平成25年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,559	27.4	53	△52.3	51	△53.1	30	△53.1
25年3月期第1四半期	1,224	78.2	111	—	110	—	65	—

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	9.00	8.56
25年3月期第1四半期	19.25	18.54

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	2,214	962	43.4	280.89
25年3月期	2,498	972	38.8	283.92

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 959百万円 25年3月期 969百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,615	20.8	182	34.3	180	33.5	108	29.1	31.60
通期	5,500	11.7	415	10.6	411	8.9	246	12.3	71.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当第1四半期において新株予約権の行使がされております。業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該新株予約権行使後の発行済株式数により算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	3,417,600 株	25年3月期	3,416,400 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	— 株	25年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	3,416,795 株	25年3月期1Q	3,408,000 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の実績は、今後様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。なお、上記業績予想のご利用にあたっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
( 1 ) 経営成績に関する説明 .....	2
( 2 ) 財政状態に関する説明 .....	2
( 3 ) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2 . 四半期財務諸表 .....	4
( 1 ) 四半期貸借対照表 .....	4
( 2 ) 四半期損益計算書 .....	5
( 3 ) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
( 継続企業の前提に関する注記 ) .....	6
( 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ) .....	6
3 . 補足情報 .....	6
生産、受注及び販売の状況.....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、現政権によるアベノミクス経済政策により、円安及び株価上昇の動きが見られ、全体としての景況感は徐々に回復しつつありますが、海外景気の不透明感や円安による原材料価格の上昇等国内経済の下振れ懸念がいまだ拭えず、不安定な要素を抱えながら推移しております。

当社の属する広告・イベント業界におきましては、2012年の日本の総広告費が5年ぶりに増加する等、顧客企業における広告宣伝投資、販促関連投資に一部復調の兆しが見られ、当第1四半期においても堅調に推移いたしました。

また、当社の主要事業領域でありますFace to Faceマーケティング市場におきましては、企業が採用する販促・プロモーション戦略の中において、イベントや展示会等を中心とするリアルなコミュニケーションが構築できる場を活用するFace to Faceマーケティング手法の効果が改めて見直され、積極的に力を入れ始める企業も増加してまいりました。

このような環境の中で当社は、一つひとつの展示会出展や販促イベントを企画・制作・運営する「点」のサポートから、年間を通じた販促プロモーション施策等を提案し、実行していく「線」のサポートへ、そして、クライアントのニーズに応じて、セールス・マーケティング戦略を企画立案し効果的に実行することで、潜在顧客の掘り起こしや、見込み顧客の創出等、直接的に売上増加に寄与していく「面」のサポートへと、顧客企業のマーケティング目標を達成するために欠かせないパートナーとして選ばれ続ける企業となるべく、取り組みを進めてまいりました。

現在の主力事業である出展サポートサービス、主催サポートサービスにおきましては、業界・顧客研究をさらに深め、より高付加価値の提案を行える体制を構築すると共に、季節による業務の閑散を平準化し、安定した商品・サービスの提供能力を拡大していくため、営業・受注機能と進行・納品機能との役割分担を再定義し、営業組織の再編を行いました。

また、顧客ニーズが急速に高まりつつある、コンファレンス&コンベンションサポート事業、商環境サポート事業、デジタルマーケティングサポート事業を新規事業領域と位置付け、それぞれが次の主力事業として成長するべく、新たな事業部として発足いたしました。現主力事業で培った様々なノウハウを活かしつつ、より専門的かつ高品質なサービスを提供できる環境を整え、新規ニーズの掘り起こしと顧客満足度の高い納品が実現できる体制を構築するため、それぞれの専門分野に特化した人員の増強等を行いました。

加えて、徹底したコスト管理を行いつつ、業務の効率化を一層推し進めるために、事業規模の成長に伴い手狭となった本社事業所を増床し、機能的な事業環境を実現するためにリニューアル工事を実施いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は主力事業であるイベント展示会やプライベートショーなどの出展サポートサービス及び主催サポートサービスが引き続き堅調に推移し、15億59百万円(前年同四半期比27.4%増)となりました。

一方、利益に関しては、当第1四半期累計期間における全国キャラバンなどの地方案件の増加により、外注原価率が高まったことにより、一時的に売上総利益率が減少したことに加え、上記本社リニューアル費用や新体制構築のための人材採用費等の増加により、営業利益は53百万円(前年同四半期比52.3%減)、経常利益は51百万円(前年同四半期比53.1%減)、当期純利益は30百万円(前年同四半期比53.1%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における財政状態は、資産合計22億14百万円(前事業年度末比11.4%減)、負債合計12億52百万円(前事業年度末比18.0%減)、純資産合計9億62百万円(前事業年度末比1.0%減)となりました。

#### (流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は18億78百万円(前事業年度末比3億42百万円減少)となりました。これは、売掛金が前事業年度末比2億15百万円減少したこと、及び税金等の支払を行ったこと等により現金及び預金が前事業年度末比1億41百万円減少したことが主な要因となっております。

#### (固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は3億36百万円(前事業年度末比58百万円増加)となりました。これは、本社事務所リニューアルにより工具、器具及び備品が前事業年度末比19百万円増加したこと、及びリース資産が前事業年度末比16百万円増加したことが主な要因となっております。

#### (流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は8億8百万円(前事業年度末比2億56百万円減少)となりました。これは、買掛金が前事業年度末比1億円減少したこと、及び未払法人税等が前事業年度末比1億67百万円減少したことが主な要因となっております。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は4億43百万円(前事業年度末比17百万円減少)となりました。これは、約定返済が新規借入を上回ったことにより長期借入金の前事業年度末比30百万円減少したことが主な要因となっております。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は9億62百万円(前事業年度末比9百万円減少)となりました。これは、四半期純利益30百万円を計上したものの配当金の支払い140百万円を行ったことにより利益剰余金の前事業年度末比10百万円減少したことが主な要因となっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間における業績経過は、概ね計画通りに推移しているため、第2四半期累計期間並びに通期の業績予想につきましては、平成25年5月2日の決算発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	990,970	849,012
受取手形	64,741	104,541
売掛金	996,621	780,804
仕掛品	69,268	39,106
原材料及び貯蔵品	1,928	2,797
その他	100,060	104,217
貸倒引当金	3,019	2,222
流動資産合計	2,220,571	1,878,256
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	134,288	189,219
無形固定資産	9,006	13,777
<b>投資その他の資産</b>		
その他	139,584	134,962
貸倒引当金	4,831	1,855
投資その他の資産合計	134,753	133,107
固定資産合計	278,048	336,103
資産合計	2,498,620	2,214,360
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	320,606	220,378
1年内返済予定の長期借入金	308,153	304,358
未払法人税等	168,859	1,607
賞与引当金	118,362	56,388
工事補償引当金	65	-
工事損失引当金	8,099	-
その他	141,225	225,818
流動負債合計	1,065,372	808,550
<b>固定負債</b>		
長期借入金	461,128	430,179
その他	-	13,280
固定負債合計	461,128	443,459
負債合計	1,526,500	1,252,009
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	158,533	158,578
資本剰余金	138,533	138,578
利益剰余金	672,338	662,089
株主資本合計	969,404	959,245
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	567	711
評価・換算差額等合計	567	711
新株予約権	2,148	2,393
純資産合計	972,120	962,350
負債純資産合計	2,498,620	2,214,360

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,224,183	1,559,658
売上原価	816,089	1,131,266
売上総利益	408,094	428,391
販売費及び一般管理費	296,322	375,119
営業利益	111,771	53,272
営業外収益		
受取配当金	33	35
貸倒引当金戻入額	-	812
雑収入	981	266
営業外収益合計	1,014	1,114
営業外費用		
支払利息	2,249	2,175
固定資産除却損	-	614
雑損失	509	-
営業外費用合計	2,758	2,789
経常利益	110,027	51,596
税引前四半期純利益	110,027	51,596
法人税、住民税及び事業税	24,604	205
法人税等調整額	19,804	20,643
法人税等合計	44,408	20,848
四半期純利益	65,618	30,748

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当社は、企業や団体の広告活動・販促活動に伴う、情報伝達を目的とした各種イベント及びマーケティングツールの企画・制作・運営を主たる業務として行っており、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績の記載はしてありません。

## (2) 受注状況

前第1四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

当第1四半期累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
コミュニケーションデザイン事業	1,143,782	143.0	1,057,162	132.7
合計	1,143,782	143.0	1,057,162	132.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第1四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

当第1四半期累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
コミュニケーションデザイン事業	1,119,166	97.8	932,829	88.2
合計	1,119,166	97.8	932,829	88.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。



## (3) 販売実績

前第1四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

当第1四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	前年同四半期比(%)
コミュニケーションデザイン事業(千円)	1,224,183	178.2
合計(千円)	1,224,183	178.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第1四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

当第1四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	前年同四半期比(%)
コミュニケーションデザイン事業(千円)	1,559,658	127.4
合計(千円)	1,559,658	127.4

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。